

第3部 「恵まれない子たちと共に」

(2)会を立ち上げる

文責
平和教育マスター
新井 榮



帰国後、幸いにして新聞紙上を通して私の思いが広く取り上げられました。そのお陰で多くの皆様方からの賛同をいただき、活動を共にして下さる方々が集まってきてくれました。そしてさらに、予想以上の心温まる支援金が集まったのです。本当に、感謝です。

私は早速活動を進めるため、会を立ち上げる準備を始めました。まず会の名称ですが、藤井先生にお願いして「子供たちの笑顔を守る会」(Save The Children Smile Association)(SCSA)という名前を付けていただきました。

この名前は、私が思い描いていた「子供たちに笑顔を取り戻す」という目的そのものでした。さらに、先生の紹介でイタリア在住の高野倉さかえさん(画家)という方に、会のシンボルマークをデザインしてもらいました。このデザインは、「カンボジアの太陽と明るい子供たちの夢」をイメージしたものとのことです。明るい色調でとても気に入っています。

このようにして会の名称などが決まり、孤児院建設のめどが立ちました。そこで、設立総会の呼びかけをしたところ、22名もの方が集まってきてくれたのです。この集まってこられた人たちの多くは、新聞紙上を通した呼びかけに応じてくださった方々ですが、中には地雷しょう害者のNGO活動を共にしてきた人たちや、以前から懇意にしてくれている先輩たち、さらに要職に就かれている方々もいました。このような心強い仲間と共に平成16年8月10日、素晴らしい門出をしたのです。

その後、10月にはNPO法人を取得し、活動をする基盤が出来あがりました。



公民館図書室

新着図書のご案内

新しい本がたくさん入りました！早来・追分どちらの公民館の本でも借りることができます。ぜひ図書室へお越しください。リクエストもお待ちしています。



早来公民館

〈一般書〉愛のエネルギー家事(加茂谷 真紀)／ボクはやっと認知症のことがわかった 自らも認知症になった専門医が、日本人に伝えたい遺言(長谷川 和夫)／ウニヒピロのおしゃべり(吉本 ばなな)／できない相談(森 絵都)／大名倒産 上・下(浅田 次郎)

〈児童書〉自分を信じた100人の男の子の物語(ベン・ブルックス)／故郷の味は海をこえて「難民」として日本に生きる(安田 菜津紀)／風をつかまえたウィリアム(ウィリアム・カムクワンバ)／おじいちゃんとパン(たな)／もうひとつの曲がり角(岩瀬 成子)

追分公民館

〈一般書〉小さき者として語る平和(福岡 賢正)／この国の不寛容の果てに 相模原事件と私たちの時代に(雨宮 処凛 編著)／世界お産 生まれやすい国ニッポンへ(きくち さかえ)／勿忘草の咲く町で 安曇野診療記(夏川 草介)／掃除婦のための手引書(ルシア・ベルリン)

〈児童書〉13歳からの世界征服(中田 考)／のび太の新恐竜 小説映画ドラえもん(川村 元気 脚本)／あたまをつかった小さなおばあさん のんびりする(ホープ・ニューウェル)／きょうはなんてうんががいいんだろう(宮西 達也)／ねずみとくじら(ウィリアム・スタイク)

今月の展示テーマ

『春から新生活』

4月になったら、大学入学、新社会人としてひとりで生活を始める方も多いことでしょう。ひとり暮らしのスタート。食事、洗濯、そうじ、各種料金の支払いなど、初めてのことばかりで、わくわくドキドキしているのではないのでしょうか。新しい場所、新しい暮らし。たくさんのお会いに恵まれますように。そんなときにお役に立つといいな、という本を展示します。ひとり暮らしだけでなく、家庭での家事のシェアにもお使いいただけたら、と思います。



図書室開室日 火～日曜日 9時～17時

※他にもたくさんの本を揃えています。ぜひご利用ください。